

富山地区広域圏衛生センター基幹的設備整備事業業務委託（質問書への回答）

No.	適用図書 記載箇所	項目	ご質問	ご質問への回答
1	入札公告	2(1)	「下水道放流」または「河川放流」と記載ありますが、入札までに放流先の提示（例：計画フローシート提出）は必要でしょうか。	別紙1「二酸化炭素排出量削減率について」に選択した水処理方式、放流先を記載してください。
2	入札公告	2(3)	「経済性に優れた施設を目指す」と記載ありますが、今回の入札はライフサイクルコストが評価されない入札方式だと思います。入札までにライフサイクルコストの提出は必要でしょうか。	本契約締結後の契約設計図書として提出して下さい。
3	入札公告	5(2)①	要件を満たす者であれば、実施設計・機器製作期間と現地工事期間での監理技術者を別人にて交代すること（リレー方式）は、可能でしょうか。	技術者が必要な要件を満たす場合は、本組合の承諾を得た上で変更してよいものとします。 なお、その際には変更届を提出してください。
4	入札公告	6(1)③	配置予定技術者について、参加申請時に提出する予定技術者から、実際に配置する技術者の変更は可能でしょうか。	
5	入札公告	6(1)⑧オ	「二酸化炭素を3%以上削減することを証明する積算内訳書」ですが、決められた様式はいただけますでしょうか。	別紙1「二酸化炭素排出量削減率について」を使用してください。
6	入札公告	6(1)⑧オ	「オ 二酸化炭素量を3%相当以上削減することを証する積算内訳書」につきまして、提出が必要となるもの及び基準とするものを具体的にご教示願います。	
7	入札公告	7(7)②	積算内訳書（様式第11号）の「科目」及び「内訳」が記載された様式はいただけますでしょうか。	別紙2「入札価格の積算内訳書」を使用してください。

8	発注仕様書 P. 1 6行	第1章 第1節(1)	「本業務は、循環型社会形成推進交付金制度（交付金交付要綱別表 1 の第 8 項に規定する廃棄物処理施設の基幹的設備改良事業）を活用して実施する。」とありますが、本業務内容としては設計・施工をするものであり、交付金申請業務は発注者にて行っていただけるものと考えてよろしいでしょうか。	交付金申請は本組合で対応しますが、申請に必要な書類の提出を依頼する場合があります。
9	発注仕様書 P. 2 10行	第1章 第1節(5), (6)	放流先と水処理方式について、複数の方式から選択することが可能となっていますが、入札までの期間で選択した方式を明示する機会がないため、参加申請時に提出する書類の中で選択した方式を示すものと考えてよろしいでしょうか。 例：提出書類 ⑧応募資格要件を満たすことを証する書類 「オ 二酸化炭素量を 3 %相当以上削減することを証する積算内訳書」において、次のように記載する。（放流先：公共下水道、水処理方式：膜分離高負荷脱窒素処理方式として計画します）	別紙 1 「二酸化炭素排出量削減率について」に選択した水処理方式、放流先を記載してください。
10	発注仕様書 P. 6 26行	第1章 第2節 2. 2(2) ④, ⑥	資源化設備（污泥乾燥設備）の整備中に発生する脱水污泥の処分費用については、発注者負担と考えてよろしいでしょうか。	工事期間中の脱水污泥の処理処分に係る費用は本組合負担を想定しますが、受注者はその負担が極力少なくなるよう、本組合の承諾を得た方法で設計・施工を行ってください。
11	発注仕様書 P. 7 15行	第1章 第2節 2. 3(4) ①	運転管理データ（直近実績）と同水準に維持できるとありますが、発注仕様書の第2章第4節(2)①表（P. 35）の公害防止条件を準拠することとしてよろしいでしょうか。	御見込みのとおりです。
12	発注仕様書 P. 9 3行	第1章 第2節 2. 4(6) ③ア. イ.	既設井戸について、既設 2 号井戸のみで既設污泥処理棟と生物処理棟側の消雪水が確保できる場合、既設 1 号井戸は使用せず残置でよろしいでしょうか。	第3章第11節11. 1(1)（P. 112）に記載のとおり、既設 1 号井戸も既設污泥処理棟や生物処理棟側の消雪水として使用できるよう、設計・施工してください。

13	発注仕様書 P. 10 9行	第1章 第3節 3. 2	本施設供用開始後15年間程度の運転管理上で支障が生じないよう、必要な設備・機器の補修・整備を行うこととありますが、これらを念頭において「施設の長寿命化のための施設保全計画」（施設整備計画）を作成し、提出するという理解でよろしいでしょうか。	御見込みのとおりです。 なお、第1章第2節2. 2①（P. 5）に記載のとおり、受注者の業務引渡し後の施設運営は、別に包括委託（期間15年程度）する予定としています。
14	発注仕様書 P. 13 14行	第1章 第5節(4) (5)	肥料登録完了までの期間に発生する肥料の保管・処分費用は発注者負担と考えてよろしいでしょうか。	本組合負担を想定しますが、受注者はその負担が極力少なくなるよう、本組合の承諾を得た方法で設計・施工・登録申請を行ってください。
15	発注仕様書 P. 17 25行	第1章 第7節 7. 2(2) ⑥	二酸化炭素量の削減検証において、改良前の二酸化炭素排出量は既設し尿処理棟と既設汚泥処理棟の合算としてよろしいでしょうか。	御見込みのとおりです。
16	発注仕様書 P. 21 8 行	第1章 第9節(7) ②	既設汚泥処理棟において、本施設を供用するにあたり運転管理に支障を来さない配管・機械は残置としてもよろしいでしょうか。	御見込みのとおりです。
17	発注仕様書 P. 22 16行	第1章 第10節 2	「契約設計図書は発注者がしている期日までに提出」とありますが、入札後、どれくらいの時期に提出が必要でしょうか。	本契約締結日から10日以内に提出して下さい。
18	発注仕様書 P. 30 11行	第1章 第13節(6)	本業務の契約約款、富山市建設工事請負約款をご提示願います。	提示します。
19	発注仕様書 P. 30 11行	第1章 第13節(6)	本業務において、建設工事請負契約書第25条第6項（通称「インフレスライド条項」）等が適用されるものと考えてよろしいでしょうか。	御見込みのとおりです。 その方法については、『富山市建設工事請負契約約款』や令和7年3月13日付の『市発注工事等における「インフレスライド条項」等の適用について（通知）」等に準じるものとします。
20	発注仕様書 P. 31 16行	第2章 第1節(2)	[D]公称能力に対する年間日最大貯留量で計画としては「608m³」とありますが、「添付資料9 令和3～5年度のし尿等搬入量実績（年度別日間別搬入量）」における搬入量の変動を考慮した貯留量で貯留槽容量を決定する必要がありますか。	[D]年間日最大貯留量は、「添付資料9」の実績値に加え、将来し尿等搬入見込量も踏まえて設定しています。 なお、日間別搬入量の変動幅の程度については、「添付資料9」を参照してください。

21	発注仕様書 P. 31 24行	第2章 第1節(3)	搬入し尿等の計画性状ですが、備考5) 記述から除さ し尿等の計画性状と解釈してよろしいでしょうか。	御見込みのとおりです。
22	発注仕様書 P. 33 13行	第2章 第3節(1) ク.	資源化設備は既設利用するため、資源化設備の運 転時間を8時間/日としてもよろしいでしょうか。	休止時間も含め、運転開始から終了までを7.5時 間以内としてください。
23	発注仕様書 P. 33 14行	第2章 第3節(2) ケ.	脱臭設備の系列は高・中濃度、低濃度の2系列で 処理してもよろしいでしょうか。	第2章第4節(3) (P. 36, 37) の公害防止条件を満 足し、かつ維持管理費が低減できる設計・施工で あれば、了承します。
24	発注仕様書 P. 35 20行	第2章 第4節(2) ②	水質項目に大腸菌群数と大腸菌数の2つが記載さ れていますが、排水基準を定める省令(廃掃法)の 改訂に基づき、性能確認においては大腸菌数のみ の性能確認で宜しいでしょうか。	御見込みのとおりです。
25	発注仕様書 P. 40 16行	第3章 第1節(1) ①イ)	歩廊幅1000mm以上では、建築基準法上の床面 積に含まれる可能性があるため、歩廊幅は動線が 確保できていれば800~900mm程度でよろしい でしょうか。	運営管理上で安全性が確保され、施設運転に支 障を来さないことを実施設計時の協議において 確認できれば、了承します。
26	発注仕様書 P. 40 29行	第3章 第1節(1) ③ウ)	機器の点検用歩廊は主要通路に含まれないものと 考えてよろしいでしょうか。	点検の内容や頻度によって、点検歩廊を主要通路 とみなす場合も考えられますので、実施設計時 の協議で判断させてください。
27	発注仕様書 P. 41 5行	第3章 第1節(3)	既設汚泥処理棟と増設棟との連絡配管やケーブル 類の設置方法(架空もしくは埋設)の指定はあり ますか。	本組合側からの指定はありませんが、維持管理 やメンテナンスの際に支障がない設置方法を 選択してください。
28	発注仕様書 P. 43 13行	第3章 第2節 2.1(1) エ)	ロードセル、パソコン等の電気部品の更新とあり ますが、専用ケーブルやカードリーダーの更新は 不要と考えてよろしいでしょうか。	専用ケーブルやカードリーダーは、劣化が認め られず、運転管理上で支障がないことが確認 できれば、不要です。
29	発注仕様書 P. 45 12行	第3章 第2節2.1(7), (8)	夾雑物除去装置及び細砂除去設備の能力選定にあ たっては、第2章第1節(2)内の年間日最大搬入 量を処理できるように設計するという認識でよろ しいでしょうか。	御見込みのとおりです。

30	発注仕様書 P. 48 25行	第3章 第2節2. 2(3) エ)5.	沈砂槽への空気供給は所用風量が少ないため、沈砂ブロワを単独で設けず、生物処理設備内の曝気ブロワ等から供給することは問題ないでしょうか。	問題ありません。
31	発注仕様書 P. 51 4行	第3章 第2節 2. 2(7)	既設の細砂除去設備の能力で計画搬入量を処理できるため既設利用で計画していますが、計画搬入量を上回った場合、細砂除去設備の能力が不足する可能性があるため、バルブ操作でバイパス可能な計画としてもよろしいでしょうか。	了承します。
32	発注仕様書 P. 91 20行	第3章 第6節(4)③ア)	COD計の設置が記載されていますが、既設では設置されておらず、当社は施設の運転管理上必須ではないと判断しております。特に問題なければ省略してもよろしいでしょうか。必要な場合、UV計を用いたCOD換算値の測定計器の設置と考えてよろしいでしょうか。	UV計を用いてCOD換算する測定計器の設置を想定してください。
33	発注仕様書 P. 102 21行	第3章 第9節 (3)	乾燥機更新工事中の脱水汚泥の搬出対応及び運搬・処分費用は発注者負担という認識でよろしいでしょうか。	工事期間中の脱水汚泥の処理処分に係る費用は本組合負担を想定しますが、受注者はその負担が極力少なくなるよう、本組合の承諾を得た方法で設計・施工を行ってください。
34	発注仕様書 P. 106 8行	第3章 第10節 10. 1	「現在、汚泥処理棟内に臭気が充満することがあるため、適切な改良を行い、改善すること。」とありますが、起こっている事象・頻度、具体的な改善基準をご教示ください。	1階水槽上部室のマンホールから臭気が噴出しており、風向きによって、ホール、玄関、事務室、会議室で強い臭気を感じられることがあります。臭気の発生状況から、脱臭設備の不備が原因と認められるため、適切な対策を講じて居室エリアで不快な臭気を感じることがないように改善してください。
35	発注仕様書 P. 106 5行	第3章 第10節 10. 1	「現在、汚泥処理棟内に臭気が充満することがあるため、適切な改良を行い、改善すること。」とありますが、当該改良・改善の効果を定型化することには限度があるため、上記は努力義務とし「脱臭設備は、本施設全体から発生する高濃度臭気、中濃度臭気、低濃度臭気を系統毎に捕集したものをそれぞれ適正処理することで、性能保証事項並びに施設の性能に準拠する性能を有するものとする。」という部分の履行が受注者の義務になると考えてよろしいでしょうか。	No. 21の回答のとおりです。効果的な対策を実施設計において提案戴き、本組合の承諾を得た上で、脱臭設備の改善を行ってください。

36	発注仕様書 P. 106 5行	第3章 第10節 10. 1	「現在、汚泥処理棟内に臭気が充満することがあるため、適切な改良を行い、改善すること。」と記載がありますが、臭気が充満する部屋や状況についてご教示ください。	1階水槽上部室のマンホールから臭気が噴出しており、風向きによって、ホール、玄関、事務室、会議室で強い臭気を感じられることがあります。適切な対策を講じて居室エリアで不快な臭気を感じることがないように改善してください。
37	発注仕様書 P. 117 27行	第4章 第1節 1. 2 (1) ⑧, ⑨	動力制御盤及び現場操作盤を全て更新する場合、盤の撤去・据付、配線の離線・結線が生じ、全点試運転を行い機能させるため、施設を1ヶ月程度停止する期間を設ける必要があります。 施設の長期間休止を回避するための措置として、既存盤の筐体を流用し、主要な盤内機器の更新を行うこととしてよろしいでしょうか。 この場合、交換対象機器は、PLCやインバータの他、盤面のタッチパネル・指示計、換気ファン、盤内照明のLED化などを考えております。	施設の長期間休止を回避するための措置として行う場合は、左記の提案を可とします。
38	発注仕様書 P. 118 5行	第4章 第1節 1. 2(5)	「既設し尿処理棟の変電設備への送電を廃止する。」と記載がありますが、既設し尿処理棟への送電するための設備は残置の上、既設し尿処理棟の仕舞処理のための電気容量を確保するという認識で宜しいでしょうか。	設備の残置は可とします。但し、既設し尿処理棟への送電は行わないため、当該工事において端末処理を確実に行う等の安全対策を適切に講じてください。
39	発注仕様書 P. 122, 123 31行 16行	第4章 第2節 2. 3 ①, ②)	運転管理用OA機器等のパーソナルコンピュータはデータログ装置の機能を有するものとして、①、②のパーソナルコンピュータは兼用しても宜しいでしょうか。	①, ②の兼用は認められません。
40	発注仕様書 P. 125 16行	第5章 第2節 (3)	掘削残土の場外処分が必要な場合、監督員との協議とあります。残土処分の指定場所がありましたら、ご指定願います。なお、受注後の協議により残土置場の変更が生じた際は、設計変更対象と考えてよろしいでしょうか。	法令等を遵守した掘削残土の場外処分であれば、本組合側から残土処分先の指定はありません。

41	発注仕様書 P. 128 28行	第5章 第3節 3.5 (2)	既設汚泥処理棟に設置されている床暖房設備について、全て更新を行う場合、床仕上げ、下地の改修が必要となるため、全ての床暖房設備の更新が不要と考えてよろしいでしょうか。 空調設備（天井設置型）については、機器（室内機、室外機）の更新と考え、冷媒管、ドレイン管等、更新を行う場合に天井のやり替えが伴うものは既存流用と考えてよろしいでしょうか。	床暖房設備のうち、床仕上・下地の工事が必要なものは、施工対象外を想定してください。 また、空調設備（天井設置型）の冷媒管やドレイン管等については、劣化が認められず、運転管理上でも支障がないことが確認できれば、既存流用も可とします。
42	発注仕様書 P. 131 30行	第6章 第3節 (4)	展示用建築模型について「改造すること」とありますが、「改造または新設すること」としてもよろしいでしょうか。	「改造または新設」も可とします。

二酸化炭素排出量削減率について

社 名

水処理方式

放 流 先

項 目		【改良前】 令和 6 年度実績			【改良後】 設計計算値		
		年間放流量 または 年間使用量	CO ₂ 排出原単位	CO ₂ 年間排出量	年間放流量 または 年間使用量	CO ₂ 排出原単位	CO ₂ 年間排出量
		①	②	①×②×10 ⁻³	①	②	①×②×10 ⁻³
単位	放流量	m ³ /年	—	—	m ³ /年	—	—
	電気	kWh/年	kg-CO ₂ /kWh	t-CO ₂ /年	kWh/年	kg-CO ₂ /kWh	t-CO ₂ /年
	灯油	L/年	kg-CO ₂ /L	t-CO ₂ /年	L/年	kg-CO ₂ /L	t-CO ₂ /年
	薬品	kg/年	kg-CO ₂ /kg	t-CO ₂ /年	kg/年	kg-CO ₂ /kg	t-CO ₂ /年
a. 1 下水道放流量		41,318	—	—		—	—
a. 2 河川放流量		79,209	—	—		—	—
b. 電気使用量		1,385,621	0.555 ※	769.020		0.555	
c. 灯油使用量		76,270	2.49 ※	189.912		2.49	
d. 薬品使用量		84,941	—	72.707		—	
	苛性ソーダ25%	23,655	0.235 ※	5.559		0.235	
	次亜塩素酸ソーダ12%	0	0.321 ※	0.000		0.321	
	硫酸75%	0	0.087 ※	0.000		0.087	
	メタノール (改良前濃度100%、改良後濃度50%)	3,384	1.530 ※	5.177		0.765	
	高分子凝集剤	2,220	6.534 ※	14.505		6.534	
	ポリ鉄11%	0	0.0308 ※	0.000		0.0308	
	凝集助剤	105	6.534 ※	0.686		6.534	
	硫酸バンド7%	51,943	0.357 ※	18.544		0.357	
	水用活性炭（粒状）	1,020	7.768 ※	7.923		7.768	
	脱臭用活性炭（粒状）	2,615	7.768 ※	20.313		7.768	
	消泡剤	0	—	0.000			
	クエン酸	0	—	0.000			
	その他（ ）	0	—	0.000			
	その他（ ）	0	—	0.000			
e. 小計（a～dの計）		1,031.64 t-CO ₂ /年			0.00 t-CO ₂ /年		
【A】 し尿等年間搬入量・処理量		19,703 kL/年			22,630 kL/年		
【B=e/A】 し尿等 1 kLあたり の二酸化炭素排出量		52.36 kg-CO ₂ /kL			0.00 kg-CO ₂ /kL		
二酸化炭素排出量削減率 (改良前との対比)					%削減		
備 考		※印は、「廃棄物処理施設の基幹的設備改良マニュアル令和3年4月改訂」を参照した。			①「太枠」に、社名、設計計算値、排出係数及び削減率を回答してください。 ②記載のない排出係数は、出典元の原本を複写し、本紙に添付して下さい。 ③本表にない項目は「その他」として追加して回答して下さい。		

令和 年 月 日

入札価格の積算内訳書

開札日 年 月 日

(宛先) 富山地区広域圏事務組合
理事長職務代理者 副理事長 舟橋貴之 様

入札者
住 所
商号又は名称
代表者職氏名

- 1 件 名
- 2 入 札 価 格 円
- 3 入札価格の内訳

(単位：円)

費 目			No.	総 額 計	うち交付対象内 計	うち交付対象外 計
工種	主要設備名	施設区分				
機械設備	受入設備	既設汚泥処理棟	(01)			
		生物処理設備（増設棟）	(02)			
	貯留設備工事	既設汚泥処理棟	(03)			
		生物処理設備（増設棟）	(04)			
	主処理設備	生物処理設備（増設棟）	(05)			
	高度処理設備	生物処理設備（増設棟）	(06)			
	放流設備	生物処理設備（増設棟）	(07)			
	汚泥処理設備	既設汚泥処理棟	(08)			
	資源化設備	既設汚泥処理棟	(09)			
	脱臭設備	既設汚泥処理棟	(10)			
		生物処理設備（増設棟）	(11)			
	取排水設備	一式	(12)			
	配管・ダクト設備	一式	(13)			
	小計	(01)～(13)の計	(14)			
電気・計装設備	電気設備	既設汚泥処理棟	(15)			
		生物処理設備（増設棟）	(16)			
	計装設備	既設汚泥処理棟	(17)			
		生物処理設備（増設棟）	(18)			
	小計	(15)～(18)の計	(19)			
土木・建築設備	土木工事	既設汚泥処理棟	(20)			
		生物処理設備（増設棟）	(21)			
	建築工事	既設汚泥処理棟	(22)			
		生物処理設備（増設棟）	(23)			
	建築機械設備	既設汚泥処理棟	(24)			
		生物処理設備（増設棟）	(25)			
	建築電気設備	既設汚泥処理棟	(26)			
		生物処理設備（増設棟）	(27)			
	附帯工事	一式	(28)			
	その他工事	一式	(29)			
	小計	(20)～(29)の計	(30)			
諸経費	共通仮設費	一式	(31)			
	現場管理費	一式	(32)			
	一般管理費	一式	(33)			
	小計	(31)～(33)の計	(34)			
入 札 価 格 (円)			(35)			

(担当者 所属 職 氏名)

(担当者直通電話番号)

(担当者メールアドレス)